

# 消防団たずね歩き

## 兵庫県消防操法大会に向けて

5月13日、神戸市消防団員4,000人の代表として、8月5日に開催される兵庫県消防操法大会に出場するため、押部谷支団出場選手の発隊式がおこなわれました。2チーム10人の出場選手たちは、昨年9月におこなわれた訓練開始式後、昼間は各々の仕事に就き、夜は20時から22時まで疲れた体にムチ打ちながら消防職員指導の下、訓練を続けてきました。

時にはプレッシャーに押し潰されそうな日もありました。今年の冬は寒い日が多く、ホースの延長や吸管の結合も手がかじかんでまならず、上達が遅れて歯がゆい思いで訓練を終える日もありました。年末年始特別警戒の警備やパトロールなど、通常の消防団活動も怠ることなく実施しなくてはならず、長く苦しい時期でした。

そのような辛い日々も中村支団長の強いリーダーシップと、岡野・財田両チームの指揮者が中心となりコミュニケーションを重ねることで、ひとつにまとまることができ、他の支団からの支援団員に勇気づけられながら、この度、発隊式を迎えることになりました。

発隊式は、嶋消防局長、中島西区長など大勢の来賓の皆さまに出席をいただき、また西消防団の北井消防団長をはじめ、各消防団長・支団長などが見守る中、西区木見

中央公園において盛大におこなわれました。

地元押部谷中学校吹奏楽部の演奏に合わせて選手入場、森岡副支団長の発隊報告、選手・指導員の紹介の後、選手を代表して岡野選手が誓いの言葉を発表しました。続いて、各来賓の方々より心温まる激励や挨拶、応援の言葉をいただき、感謝の気持ちでいっぱいになりました。最後の各チームによるポンプ操法には、会場に参加いただいた皆さまから温かい拍手をいただきました。

8月5日の大会当日に向かって、訓練はますます厳しさが増してきます。指導職員や支援団員、ご協力いただいた地域の皆さまや家族のためにも、しっかりと訓練し、ますます精度を高め、大会当日はその成果を発揮できるよう努力していきたいと思えます。

(西消防団 押部谷支団 中西秀暢)



執筆者:前列最左



**地域に根付いた消防団を目ざしています!**

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局  
神戸市消防団

